

みんなで目指そう!

エスディージーズ

# SDGs × ジェンダー平等

## ●SDGsは世界共通の目標 誰ひとり取り残さない

SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、世界で広がる貧困・格差・地球環境の危機を克服し「持続可能な社会・経済・環境」を目指す、世界共通の目標です。

2015年に国連サミットで日本も賛同し、国連加盟国全員一致で決定となりました。地球上の「誰ひとり取り残さないこと」を誓っており、2030年という達成期限を設け、17のゴールと169のターゲットから構成されています。すべての国が取り組むべき目標であり、SDGsの達成は一人ひとりの行動にかかっています。



### 5 ジェンダー平等を実現しよう

#### 「ジェンダー平等」って?

「ジェンダー平等」とは性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めてゆくことを意味しています。

男性と女性は体のつくりは違っていても、平等です。

ところが、今の社会では男性の役割・女性の役割など、個人ではなく、「性別」によって生き方や働き方が決められてしまうことがあります。そこで、世界中で法律や制度を変えたり、教育やメディアを通じて意識を高めたりする活動を行うことで、社会的・文化的に作られた性別(ジェンダー)を問い直し、全ての人の人権を尊重し、責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会づくりのための取組が行われています。

また、「女性だから」という理由で直面する壁を取り除き、自分の人生を自分で決めながら生きるための力をつける取組(エンパワーメント)も行われています。

「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント」は、SDGsの重要なテーマです。

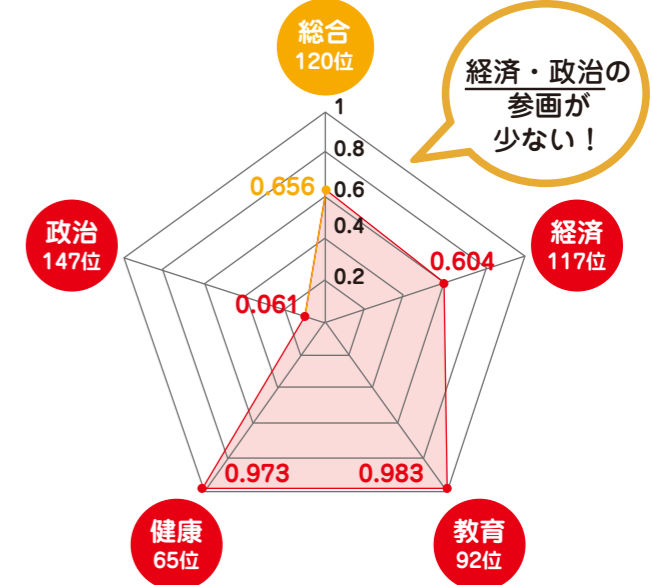
SDGsの5番目の目標が「ジェンダー平等を実現しよう」です。すべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別の撤廃・暴力の排除など9つのターゲットが設けられています。

SDGsゴール5が目指すのは

## ●データでみる日本の「ジェンダー平等」

世界経済フォーラム(WEF)が2021年3月に発表した「ジェンダー・ギャップ指数」(右図)では調査対象となった世界156カ国のうち日本は120位(前は153カ国中121位)。先進主要国首脳会議参加国(G7)の中でも最下位でした。

ジェンダーギャップ指数: 経済、教育、健康、政治の4分野14項目で算出。指数が1に近づくほど男女平等の度合いが高いことを意味しています。



| 衆議院の女性議員比率  |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| フランス: 39.5% | イギリス: 33.9% | ドイツ: 31.2% |
| アメリカ: 23.4% | 韓国: 19.0%   | 日本: 9.9%   |

(出典) 列国議会同盟(2020年10月時点) 下院又は一院制議会における女性議員割合

| 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合(就業者: 管理的職業従事者) |                      |  |
|---------------------------------------|----------------------|--|
| フランス 48.5% : 34.2%                    | スウェーデン 47.5% : 40.2% |  |
| 米 国 46.8% : 41.1%                     | 日本 44.5% : 13.3%     |  |

(出典) 総務省「労働力調査(基本集計)」(令和2年)、ILO「ILOSTAT」より

## ジェンダー平等がSDGsの達成に!

「ジェンダー平等の実現」は、SDGsすべての目標を達成するうえで、とても重要なテーマです。性別による差別や格差をなくし、誰もが自らの能力を発揮できる社会を実現しましょう。

### 講座「SDGs～ジェンダー平等の実現に向けて～」

- 日程** 令和4年1月22日(土)午前10時～正午
- 講師** 三輪 敦子さん  
(一財)アジア・太平洋人権情報センター所長
- 会場** クロスパル高槻 401会議室
- 定員** 申込順18人 ※受講料は無料
- 保育** 有(未就学児・5人)
- 申込方法** 令和4年1月4日(火)から電話(072-685-3725)か直接、男女共同参画センターへ ※保育申込は1月12日(水)まで



三輪敦子さん